

デーリー東北

2023年(令和5年)3月8日(水曜日) (2)

八工大 脱炭素へ人材育成

27年度学科新設も視野

23年度は教育プログラム

八戸工業大(坂本禎智学長)は2023年度、脱炭素社会の実現に貢献する人材の育成に取り組む。1、2年生を対象に、環境問題や再生可能エネルギーなど



7日に発足した「H1Tカーボンニュートラル人材育成協議会」の初会合
|| 八戸市

について学ぶ教育プログラムを用意。27年度の学科やコース新設も視野に入れる。7日には、企業や研究機関で構成する協議会を立ち上げた。

同大は、昨年度から学生向けの教育プログラムを検討してきた。温室効果ガス排出量を実質ゼロにするカーボンニュートラルの取り組みについて、学科を問わず多くの学生に理解を深めてもらうのが狙い。今後は、地域活動の一環として、小中学校や高校への出前授業、社会人向けの教育支援なども実施する。

7日に開かれた「H1Tカーボンニュートラル人材育成協議会」の初会合では、活動の方向性を確認。教育

プログラムや新学科の内容充実を図るほか、目標達成に取り組み企業の理解促進

を進め、若者の地元定着にもつなげていくことを申し合わせた。

この日は「学外視察を加えてはどうか」「多くの学生が参加する内容にしてほしい」などの意見が出た。

協議会の会長を務める坂本学長は「学生にはカーボンニュートラルを取り巻く状況を理解してもらい、将来、地元で脱炭素を進める力になってほしい」と強調した。
(小嶋嘉文)

※この記事・写真等は、デーリー東北新聞社の承諾を得て転載しています。